

用瀬運送有限公司

鳥取県鳥取市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

運送業のノウハウを林業に活かすことで、 森林に眠る林地残材を商品に転換し、森林 の保全に貢献

- 原木輸送から林業型 3PL 事業へ進出することにより、ボトルネックの解消と業務の効率化を図る
- 採算性が低いため森林内に捨てられてきた林地残材を回収効率を高めて商品へ転嫁
- 従業員が働きやすい労働環境を提供することで処遇改善を図り、安定した人材確保を実現

企業基本情報

所在地	鳥取県鳥取市用瀬町樟原 273-5
電話/FAX	0858-87-2973/0858-87-2249
U R L	www.mochigaseunsou.co.jp/
代表者	代表取締役 松尾 広樹
設立	1959年
資本金	300万円
従業員数	37人



会社概要

「木材等地域資源の持続的な利用とそれにかかわる物流業務効率化による全従業員の物心両面の幸せを追求し、社会の発展に貢献すること」を経営理念として、一般貨物運送業と造林事業、素材生産事業から原木の輸送までを行っている。同社は、2016年10月に「運送業者から林業型 3PL（サードパーティロジスティクス）への転換と林地残材の商品転換」をテーマに、経営革新計画の承認を受けて近隣の森林組合と連携しながら事業を展開中である。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 原木輸送から林業型 3PL 事業への進出でボトルネックを解消

立木の伐倒から原木市場までの輸送現場では、林業者から運送業者へ事業主体が交代する山土場での原木の積み込みがボトルネックとなっている。

同社の強みである運輸部門のオペレーション能力と林業部門で培った伐倒から原木市場までの搬出ノウハウを活かして、最も効率的な森林経営計画実現のための物流戦略の企画立案や物流システムの構築の提案を行う。かつ、それらを包括的に受託する林業型 3PL 事業を展開することで、素材生産事業の生産性向上を担っている。



山土場からの搬出

▶▶▶ 木質バイオマス発電所のニーズに応えた商品の提供

これまで、回収効率が悪い林地残材となっていた端材を運輸部門のノウハウを活用して回収を行い、木質バイオマスチップへと商品転換を図っている。木質バイオマス発電所のニーズに応えるために①再生可能エネルギー固定価格買取制度において最も買取価格が高い未利用木材を使用。②製造過程での泥や石といった異物の混入を防ぐことで灰の排出量が少なく、燃焼性が高い切削木質バイオマスチップ製造と生産体制の構築を行っている。



未利用木材回収

▶▶▶ 従業員が働きやすい労働環境を提供することで事業を拡大

ア. 年齢や本人の適性、希望を勘案した人員配置、イ. 個人のライフイベント等における休日希望を実現できる柔軟なシフト体制、ウ. ゆとりを持たせた配車計画を実施している。これにより運転手の人材確保が厳しい事業所が多い中、同社の運転手が友人や知人の運転手をリクルートしてくれている。2010年に現代表へ事業承継後、8年間で15名従業員が増加している。今後も、林地残材を使った木質バイオマスチップ事業に参入することで、地域の雇用創出を図る。



社内での安全講習会